読み聞かせから
一人読みへ
低学年と楽む本

絵本から少し長い物語へ
自分で読む知識の本へ

子ども文庫の利用者に
人気の本を
紹介します。

八王子子ども文庫連絡協議会編
平成 28 年 10 月

『おばけやさん』おかべりか作／偕成社

(1) これがおばけやさんのしごと
(2) ないしょのおしごとひきうけます
(3) ふわふわするのもしごとです
(4) こもりさくせん はじめます
(5) よるのがっこうでおしごとです
(6) はじめてのおみせばんです

『キナコ』いとうみく作／青山友美絵／PHP 研究所
キナコはねこ、でもあたしの妹です。ママは赤ちゃんが生まれるからキナコをおばあちゃんちに預けるっていうけど、あたしは赤ちゃんよりキナコが大事。

『へんないきものすいぞくかん
ナゾの一日』
松橋利光写真／アリス館
深海にすむ生物の図鑑です。形も色も想像がつかないものだらけ。世の中にはまだまだ不思議があふれています。

『アイウエ動物園』シリーズ　１～７
角野栄子作／クレヨンハウス
かわいい動物たちと優しい園長さんが繰り広げる愉快なお話。読んでいると動物園に行きたくなってきます。にしかわおさむさんのほのぼのとした絵も、楽しい気持ちを盛り上げます。
1 モコモコちゃん家出する
2 わにのニニくんのゆめ
3 しろくまのアンヨくん
4 まるこさんのおねがい
5 いっぽんくんのひとりごと
6 カンコさんのとくいわざ
7 マリアさんのトントントントンタ
どれから読みますか？

『ぼくのかえりみち』ひがしちから作／BL 出版
学校の帰り道、道路にひかれた白線の上だけを歩いて家に帰る小学生のそら君の冒険。

『ブリからみると』
桑原隆一作／栗林慧写真
／福音館書店
ブリの視点で世界を見てみませんか。新たな世界が見えてきますよ。

『あたまがコんがらがった劇場 ⁉』
ユーフラテス作／小学館
NHK「ピタゴラスイッチ」でお馴染みのユーフラテス作、不思議な新キャラクターが笑いを誘います。学童で人気です。

『あむとあおいりーど』（こどものとも）
小風さちさく／山口タオ絵／福音館書店
死をあつかった絵本です、読み聞かせてあげましょう。まだ単行本にはなっていません。

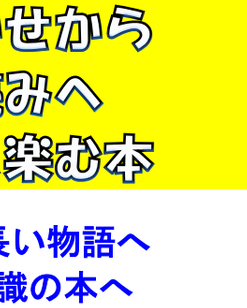
『ある日のクラスにふしぎな手紙が届きました。たった一言「あひる」と書いてあります。誰から来た手紙でしょう？
『カルペパーー家のおばけし』ロボドキン作／清水真砂子訳／瑞雲舎
デビーのお父さんが紙人形を作ってくれました。本のしおりにされたり、くものの巣にひっかかったり、でもいつも家族の力で乗り切ります。

『くろねこのロクそらをとぶ』
ハンガ・ムーア作／なかがわちひろ訳／徳間書店
黒猫のロクは毎日６軒の家から餌をもらっています。ある日と飼い主の一家とキャンプ場へ行ったことから冒険の旅が始まります。

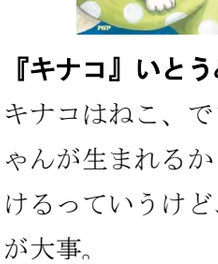
『あかちゃんおばけ〜ロンカ』
ネスト・リンガー／若松宣子訳／偕成社
こわがりやのロンカーは妹を怖がらせようと人形のおばけを作ります。

『うわさのがっこう〜〜へなしゅく だいのうわさ』
きたやまようこ作／講談社
虫たちが拾ってきたちいさな種があちらこちらでいろんな《うわさ》の花を咲かせます。そんな、森のどこかにある新しくて古い学校の話。

『みずのふしぎあそび』
立花愛子作／偕成社
コップに入れればコップの形、袋に入れれば袋の形、水って不思議。水を使っていろいろな遊びをしましょう。



『パパパンとイッパイアッテナ』
斉藤洋作／講談社
迷子の黒い子猫ルドルフが太ブチ猫イッパイアッテナと大冒険を繰り広げます。映画にもなりました、舞台は八王子市立第十小学校だとか。



『ひとつおきの標語』村上しいこ作／PHP 研究所
先生が「最近クラスで感じていること」をテーマに標語を考えるように言いだした。言葉のリズムを楽しみながら読んでください。

『かいけつゾロリのおやじギャグ 200 連発』
原ゆたか作／ポプラ社
お馴染みゾロリの本。そのなかでも学童で引っ張りだこなのがこれ！